



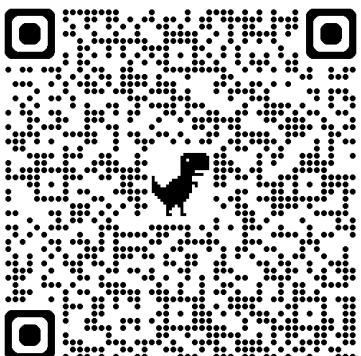
地球いきいきプロジェクト

秩父百年の森
力工デで未来につなぐ
持続可能な森づくりに参加！

Forests Circulation in Chichibu

森の循環、秩父から
～メープル・プロジェクト～

アンケートのお願い



2025年10月4日(土)開催
JTBエスコート商品販売事業部

ご旅程表

観光庁長官登録旅行業 第64号
(一社)日本旅行業協会正会員



株式会社 JTB 感動のそばに、いつも。

エスコート商品販売事業部
〒112-0006 文京区小日向 4-615 茅荷谷駅 MFビル3階
TEL:050-3504-1672
営業時間:10:00~18:00/定休日:土・日・祝日
総合旅行業務取扱管理者:浅見 雄介

地球いきいきプロジェクト:@秩父】

秩父の循環型林業に参画、森のエコツアーと植樹苗の植え替え体験

作成日:2025年9月9日

ご旅行方面: 埼玉・秩父
ご旅行期間: 2025年10月4日(土)日帰り

ご参加人数: 30名様 社員・現地係員・ガイドがご案内します
ご集合場所: 西武秩父駅(9:00集合)

日次	月日曜	行程										食事
		西武秩父駅(西武秩父線)	9:10	<40>	9:50	道の駅大滝温泉(トイレ)	10:00	<45>	10:45	【75】	三峯千年の森エコガイドツアー	
1	10/4 (土)	秩父の地元名産品と 手打ち蕎麦の昼食			三峯神社 境内の案内と参拝				MAPLEBASE にて 植林用の苗木の植え替え体験 (※)軍手・汚れてよい靴・服を準備してください	朝:— 昼:○ 夕:—

<凡 例> ◎は入場観光/○は下車観光/△は車窓観光

<記入例> 鉄道■■■ 航空機✈✈✈ 私鉄■■■ バス— 船～～～ ケーブルカー~~~ ロープウェイ~~~ 徒歩…… タクシー／乗用車——

参加資格・条件:

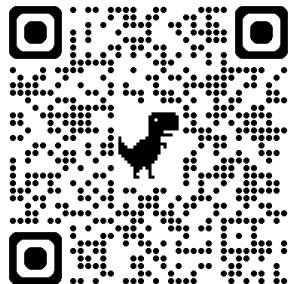
趣旨に賛同し、苗の植え替えなどの活動などに積極的に参画いただける方(通常の観光旅行ではありません)



●「JTB地球いきいきプロジェクト」は、サステナビリティへの貢献を目的に、地域の環境保全活動に歴史や文化、観光素材に触れる機会を盛り込んだ JTBグループならではの取組みです。1985年の第1回開催以来「観光地をきれいに元氣にする」活動として、37年間にわたり「観光地クリーンアップキャンペーン」を日本全国各地で実施し、これまで延べ 13万人以上のお客様にご参加をいただきました。

●2012年のJTB創立100周年を機に、「地域を元気に、人を笑顔に」という思いを込めて、この取り組みを「JTB地球いきいきプロジェクト」に改称し、より積極的に推進しています。地方自治体から一般企業まで、様々な連携先と共に、自然環境や生物多様性の保全活動、歴史や文化の学習体験、観光名所づくりなど多岐に渡わたる活動を実施しています。

2024年事例紹介



2023年事例紹介



山林保全

秩父(日本各地)が抱える課題 「林業の担い手不足」=儲からない

- ・林業の高齢化・私有林権利問題
- ・手入れの行き届かない杉・檜の森増加

伐採・製材

- ・切る、運ぶ、材にする、それぞれの中間コスト
- ・杉一本の粗利=1,000円の現実、助成金頼みの林業

流通・販売

- ・輸入材との競争優位性低下
- ・価値の高い良質な秩父材が消費者に認知されない

秩父の山林の歴史

江戸時代

- ・幕府直轄地天領として江戸の街づくりを支える

明治～大正時代

- ・版籍奉還で新政府による造林・植栽が進む
- ・第一次世界大戦時の需要傾向から長径材伐採が進み、針葉樹も長伐期方針に

昭和初期

- ・第二次世界大戦での緊急需要対応で植栽なしの過剰伐採。森が荒廃、山地災害が発生

終戦から高度成長期

- ・戦後に荒廃した山林の復旧造林、生産拡大
- ・高度成長期需要増に対し拡大造林、自然林伐採
- ・「自然保護」と「林業」の両立へ

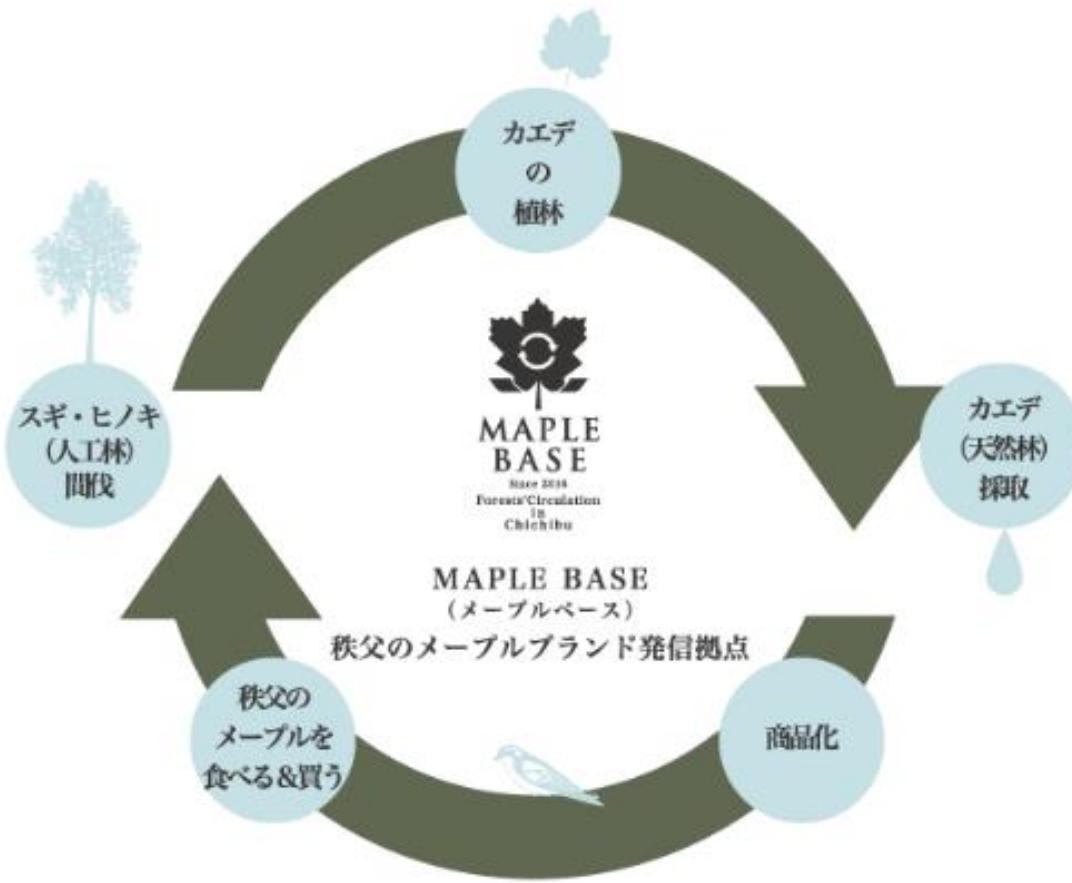
現在

- ・高度成長期時代植栽樹の伐採適齢期
- ・高齢化問題と事業利益面から放置されるケース

秩父の森の課題解決「伐らない林業」とは

JTB

秩父モデル:「伐らない林業・循環型林業」への挑戦



- 山林保全**
 - ・杉・檜を間伐してカエデを植樹
 - ・根が広く保水力ある広葉樹による治山効果
 - ・20年後の新しい林業を見据えた息の長い活動
- 新しい森の恵み**
 - ・山に植えたカエデは毎年自然と樹液を恵んでくれる
 - ・日本初のシュガーハウス MAPLE BASE
 - ・秩父産「和メープル」の価値づくりと認知拡大
- 森も暮らす人も豊かに**
 - ・山の持ち主がカエデ樹液の利益で再び山を入れできるように
 - ・同時に、多品種良質な「秩父材」の認知向上で国産林業の威厳復活を

2025年5月25日「第75回全国植樹祭」が、今回植樹をする「秩父ミューズパーク」で開催されました

今回のいきいきプロジェクトで関わる部分とは

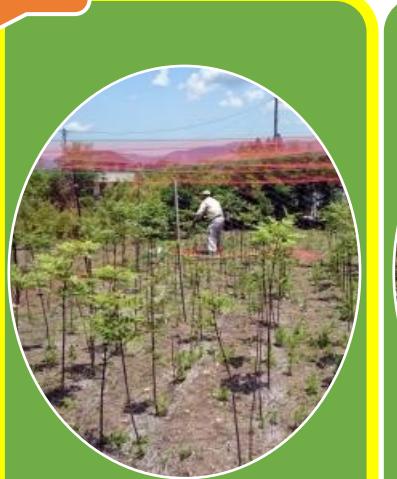
今回はこの辺り



山に入り、森を歩きながら、山中に自然に芽吹いた将来有望な苗を選別します



力エデの休眠期である10~11月に、夏に選別した苗を育成用の畑に植え替えます



植樹に適する大きさになるまで、専用の畑で5年~10年ほど育成します。



独立立ちできるまで成長したら、いよいよ山に力エデを植樹します。



毎年毎年、成長する力エデたちを見守って大切に育てていきます。



20年後、私たちの苗からおいしいメープルシロップができるかもしれません。

持続可能な森林の保全と、持続可能な秩父の林業、持続可能な秩父経済圏の発展を目指し
次世代につなげる循環型のロングスパンな活動を継続していく

※通常は夏に種の発育状況を確認、10~11月に種を採取し、それを発芽させ苗を育てるところからスタートしますが、今回は苗づくりと昨年発芽した苗を植え替える形で活動を実施します

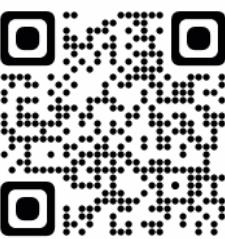


井原愛子さん(TAP&SAP 代表取締役)

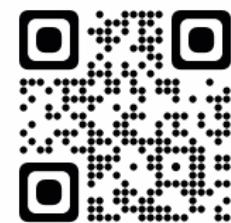
秩父市出身。大学卒業後、外資系企業(IKEA)の就職を機に都内で生活。2014年にNPO法人「秩父百年の森」が開催したエコツアーに参加し、秩父の美しい森林の維持や次世代への継承を考えたことをきっかけに周囲の反対をものともせず秩父へUターン、2015年にTAP&SAPを起業。

2016年オープンの日本初のシュガーハウス「MAPLE BASE」を拠点に、メープルシロップはもちろん、果実や野菜のジュースをミツバチが食べて作る第3のみつ「秘蜜」や、秩父に自生する薬木のキハダ(黄肌)を活用したサイダーやボディーソープ製品など、秩父の自然の恵みを活かした商品の販売や、森を知るエコツアーの企画によって、秩父の森とそこに関わる人、そして持続可能な林業への取組を発信し続けています。

※訪問前にこれをチェック！

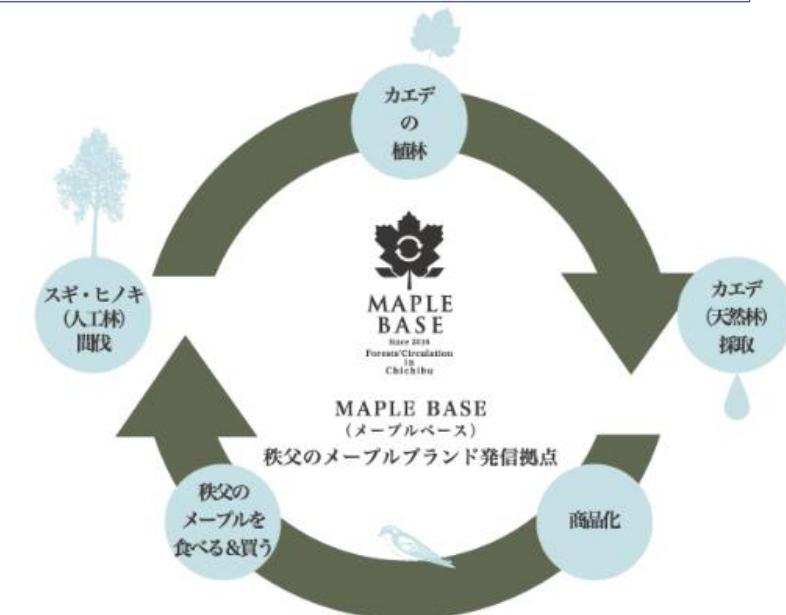


TAP & SAPのホームページ



井原さんの取組がTV番組でも取り上げられました

井原愛子さん、今回同行して森を案内いただく島崎さんに会われたのをきっかけに、「持続可能な自然環境づくりと地域経済の両立」の理想を実現するため、一念発起し、周囲の反対を押し切り、安定した暮らしを投げ打って、この「シュガーハウス」を自ら立ち上げ、訪れるたくさんの方々に、秩父の様々な自然の恵みや取り組みを発信され続けていらっしゃいます。そんな井原さんに、秩父で行われているメープルシロップづくりについて詳しくお話を伺います！





NPO法人秩父百年の森・秩父樹液生産協同組合

島崎 武重郎さん

秩父市出身。秩父の森と渓流釣りをこよなく愛する「山遊びの達人」

学生時代に立山連峰の山小屋で飲んだ力工デの樹液紅茶に感動した体験をもとに、秩父での力工デを活かした名産品づくりを仕掛けた発起人。

林業は担い手の高齢化や経済的な評価の低さから、持続的な経営が難しいという問題がある中、その解決策の一つとして森の樹液や薬木の樹皮の活用により、環境的にも経済的にも森と人が関わり続けられる新しい仕組みづくりを目指しています。 <https://toms.jp/5804>

日本の林業の将来にとって、この秩父モデルが林業再生と地域活性化が紐づくロールモデルとなるべく、活動に取り組んでいます。



※訪問前に
これをチェック！



島崎武重郎さん、秩父では知らない方がはいいくらいの有名人で、市長はもちろん、知事も節目にご自宅に挨拶にこられるとか！

森林や地質に関する教養が深く、日本薬科大学や東京大学の演習を受け持つ「森の先生」でもあります。日本の山林や里山が世界的に見て、どんなに豊かで唯一無二の貴重なものなのかを教えてくれる「森の語り部」であり、島崎さんの話を聞いた後は普段何気に見たり入っていた森が、ワクワク空間に変わりますよ！

日頃のお忙しいスケジュールの中、いきいきプロジェクトにお付き合いいただけました！秩父のことは何でも知っていますので、気軽に声をかけて下さい！

こんなところにご案内します！

JTB

「三峰神社・千年の森のエコガイドツアー」

かつての藩有林で今は県有林の、カエデを中心に秩父山域の多種多様な樹木が残る天然林をご案内



NPO法人秩父百年の森

「森の遊び人」島崎武重郎さん、「森の達人」齊藤隆さん
に 秩父の森の魅力を語りながらガイドいただきます

(数種のカエデの自然林の中を歩きながらガイドします。運動靴でOK)

- ①「天領・大滝村」秩父の林業のはじまり
- ②日本でも類を見ない植生の多様性「秩父の森」の紹介
- ③カエデが持つ神秘的な力と、1本づつ異なる樹の個性
- ④「伐る林業」の持つ課題と、未来に向けた「林業」の話

※NPOからの案内人・お話しする内容は変更となる場合があります。

そして、自然に生育しているカエデをはじめとする森
の苗たちや、カエデの種などを実際に観察。

- ①山での種を採取 ②ポッドへの種植え ③以前に植
え発芽した苗の、植え替え作業 を予定しています

※作業内容は変更となる場合があります

息の長いプロジェクトを、皆さんとともに進めていきたいと思います

参加資格・条件:

趣旨に賛同し、苗の植え替えなどの活動などに積極的に参画いただける方(観光旅行ではありません)

こんなところにご案内します！

JTB

「MAPLE BASE」日本初のシュガーハウス

Forests' Circulation in Chichibu (森の循環、秩父から)



2025年の樹液採取から
メープルシロップ完成までの
MOVIE⇒



作業後はMAPLE BASEの特別メニューで一息ついてください。
(パンケーキではないので、あしからず！)

井原さんからはMAPLE BASEの
目指す世界やメープルシロップづくりのお話をいただきます

秩父の山の甘い恵みをお楽しみください！

本年2月に「満点☆青空レストラン」
で紹介されました



2025年全国植樹祭の開催地 秩父ミューズパークにある「循環型林業」理想実現の基地